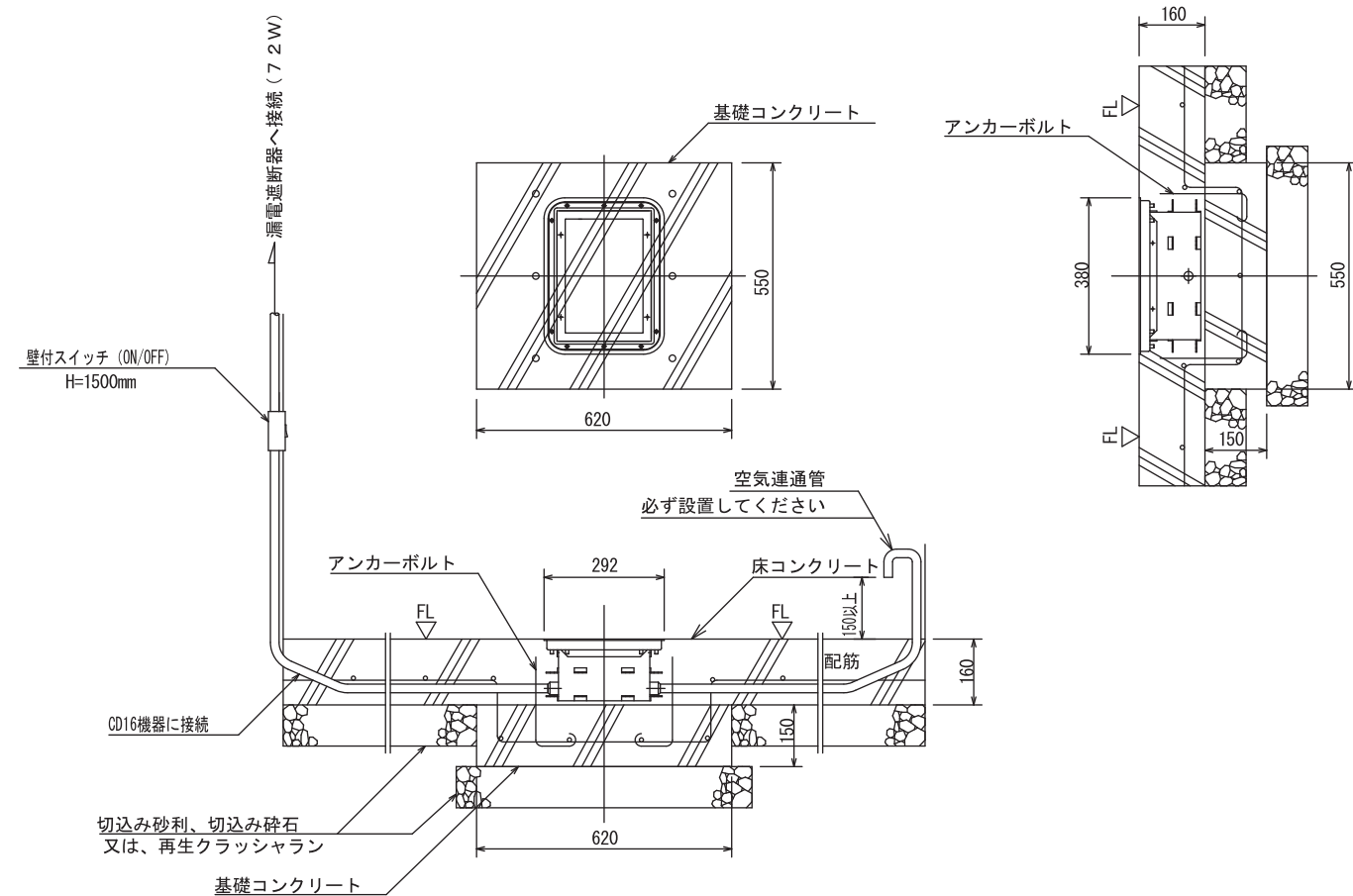


施工要領図



⑤仕様

型 式	SL-72GX
使用蛍光管	FML36×2 灯 (出荷時は FML36EX-N×2 灯)
消 費 電 力	63W
電 源	AC100V 50/60Hz
点 灯 方 式	インバーター
ガ ラ ス	強化ガラス 厚さ 10mm
耐 荷 重	1.0 トン
寸 法	380×292×150
重 量	9kg
ステボックス防水	アロンウォール 5 層防水 (アロン水性防錆プライマー、アロンコート SB、アロンコート ST、寒冷紗、アロンコート ST)

⑥故障・修理依頼・サービス

この製品に関してご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくは当社までご相談ください。

販売店

嵯峨電機工業株式会社 技術部
〒145-0076 東京都大田区田園調布南 10-5
TEL 03 (3758) 8691
FAX 03 (3759) 8263



保存用

アッパーライト 取扱説明書

フロア埋込タイプ『SL-72GX』

この度は「SL-72GX」アッパーライトをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。お求めの製品を正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。尚、この取扱説明書は、いつでも見ることのできる場所に大切に保管してください。

①取扱上のご注意



注意

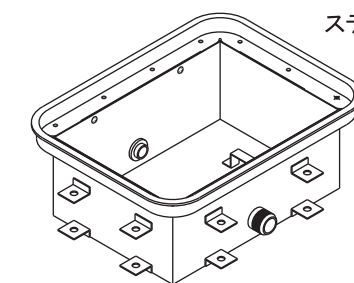
- a. 製品の改造及び蛍光管以外の部品交換は、絶対にしないでください。製品の機能の低下や故障の原因となるばかりでなく、感電や漏電等の原因となり危険です。
- b. この製品は、屋内での通常の作業環境に対応できるように設計されています。使用できる温度範囲は5～35℃です。
- c. 製品に表示された定格電圧以外の電圧では、絶対に使用しないでください。定格電圧を超えた電圧でご使用になりますと火災の原因となります。
- d. 紙や布等をかぶせたりして使用しないでください。製品の温度が高くなり火災等の原因となり危険です。
- e. 長時間連続で使用すると製品の温度が上がりガラス上が熱くなり、素手で触るとヤケドをする恐れがあるので十分注意してください。
- f. 本製品の強化ガラスの耐荷重は1トンですのでそれ以上の重量物は乗せないでください。また、故意にものに乗せることは絶対にしないでください。ジャッキ等も絶対に乗せないでください。
- g. 強化ガラスの表面に傷がつきますと、強化ガラスが割れる恐れがありますので、強化ガラスの上に硬いものを落としたり、乗せたりしないでください。

② 梱包内容

当製品は「ステボックス」と「照明 ASSY」2 梱包 1 セットとなっております。

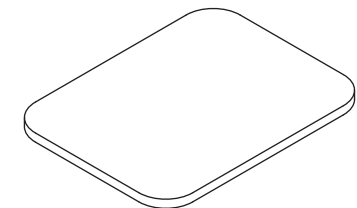
梱包の箱の中に以下のものが入っていることを確認してください。

一 ステボックスの箱

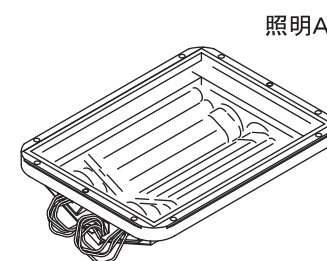


ステボックス

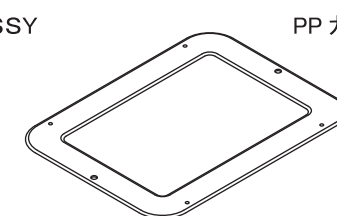
木板



照明ASSYの箱



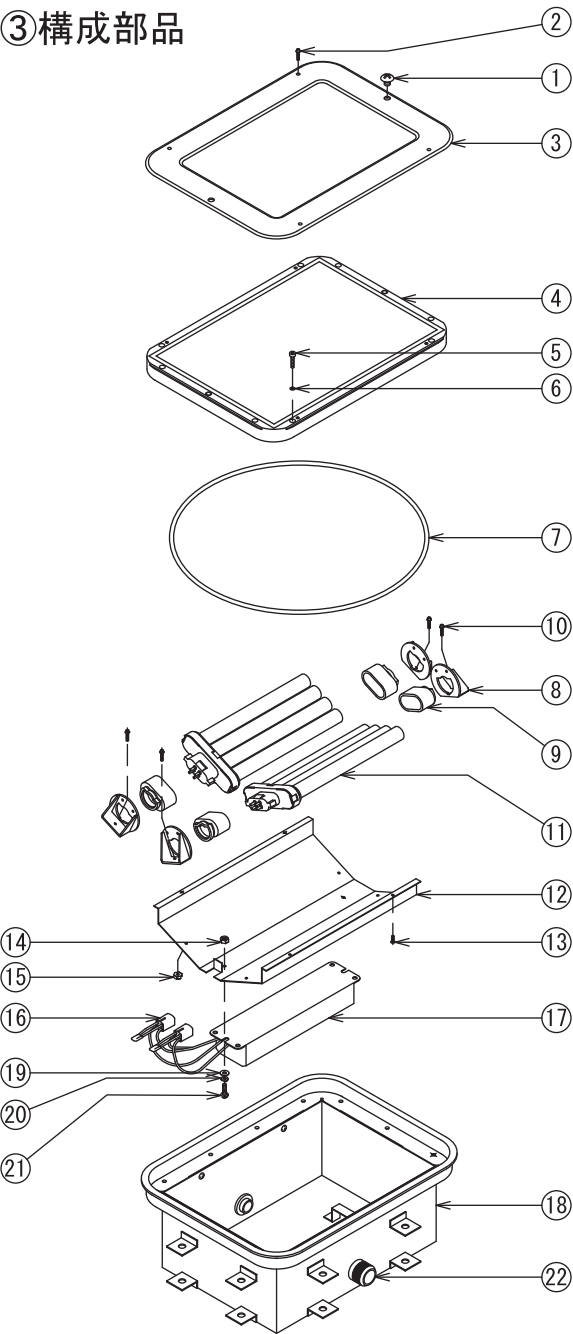
照明ASSY



PP カバー

- ・ M4 六角穴付ボルト 8 本
- ・ Oリング (小) 8 本
- ・ 六角レンチ 1 本
- ・ M8PP カバー止めネジ 2 本
- ・ M4PP カバー止めネジ 4 本
- ・ Oリング (大) 1 本
- ・ コーキング材 1 本

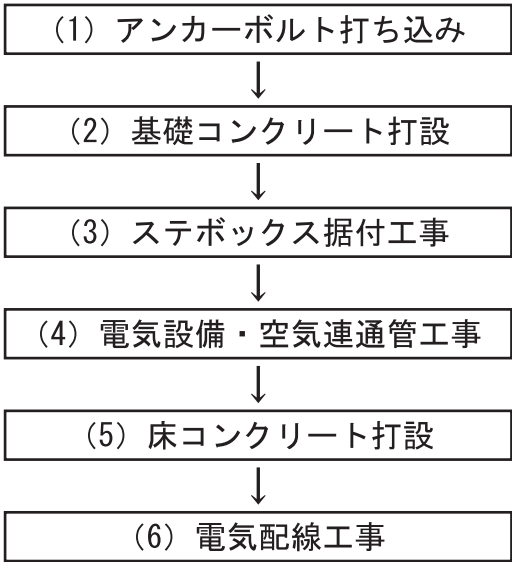
③構成部品



番号	部品名	規格	使用個数
1	PPカバー止めねじ	M8	2
2	PPカバー止めねじ	M4	4
3	PPカバー		1
4	ガラス枠		1
5	六角穴付ボルト	M4×20	8
6	Oリング（小）		8
7	Oリング（大）		1
8	蛍光管ブラケット		4
9	蛍光管ホルダーゴム		4
10	蛍光管ブラケット止めねじ	M3×8 P=3	4
11	蛍光管	FML36EX-N	2
12	反射板		1
13	反射板止めねじ	M3×6 P=2	4
14	インバーター止めナット	M6	2
15	蛍光管ブラケット止めナット	M3	4
16	ソケット		2
17	インバーター		1
18	ステボックス		1
19	平ワッシャ		2
20	スプリングワッシャ		2
21	インバーター止めねじ	M6×10 P=3	2
22	コネクター	CDK-16YS	2

④工事方法

工事は下記の設備図及び基礎図に従い次の手順で行ってください。



(1) アンカーボルト打ち込み

φ16 以上 4 ～ 6 本で、ステボックスが固定できる位置に設置してください。

(2) 基礎コンクリート打設

コンクリート厚 150mm 以上

(3) ステボックス据付工事

ステボックスはレベル出し後、基礎コンクリートのアンカーボルトに補強筋を用いて溶接等で動かないように固定してください。スラブ筋への溶接はしないで下さい。溶接はステボックス本体に直接しないで、**必ず定着用プレート**に溶接してください。

(4) 電気設備・空気連通管工事

1. 配線用の CD 管をソケット部分に確実に差し込んでテーピングしてください。
注意：差込処理が悪いと水が入ります。
2. フタ（コンパネ）の上にダンボールをあてがい、ガムテープで目張りをして養生してください。
注意：ステボックスの内側にコンクリート等が付着すると水漏れの原因となります。
3. 末端には必ず空気連通管を取り付けてください。系統の末端への空気連通管の取り付けは、器具内の温度上昇と、結露発生を極力抑えるために必要です。

(5) 床コンクリート打設

1. コンクリートを流し込む前に、フロアレベル合わせてしっかりとアンカーボルト等に溶接等で固定し、レベルの確認をして下さい。
2. コンクリート打設後、コンクリートの硬化前にレベルの確認とステボックスの周りのこて押しへの状況を確認してください。

(6) 電気設備工事

1. ステボックスの目張りガムテープを取り除き、ステボックスの内側に付着しているコンクリートや床コーティング剤等をきれいに拭き取ってください。
2. 配管に通線して下さい。配線には VCT3 心 ×0.75 mm 2 以上のものを使用してください。
3. 電源をインバーターに接続してください。
4. ガラス枠の裏側の溝に O リングをはめてください。
注意：O リングを傷つけたり、ねじれた状態ではめないように注意してください。
注意：ガラスは強化ガラスを使用しておりますが、ガラス表面に傷がつくと割れやすくなる恐れがあります。
取扱には充分注意してください。
5. ステボックスに照明 ASSY を取り付けて、付属の六角穴付ボルト 8 本で固定してください。
注意：O リングが均等に潰れるように、ボルトをしっかり締めてください。
6. ガラス枠とステボックスの隙間を付属のコーキング材でコーキングしてください。
注意：はみ出した余分なコーキング材はきれいに拭き取ってください。

工事店様へ

工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様にお渡ししてください。